

“セルロイド”ってなに？

セルロイドは1800年代後半に発明され、本格的に工業生産された最初のプラスチック素材です。
強度があり、軽量で透明、着色や加工がしやすいため、象牙やサンゴなどの高級素材の代用品として利用されました。このため、当時「夢の材料」と呼ばれていました。
透明で割れない特性から、映画フィルムや写真フィルムなどの光学材料として、革新をもたらしました。また、さまざまな用途や多くの分野でセルロイドの加工を通じて成形技術や金型技術が開発され、これらの技術が現在の産業の基盤となっています。

What's

セルロイドの原料について

セルロイドは天然由来の綿花（コットンリント及びコットンリントター）からとれるセルロースとクスノキからとれる樟脳（しょうのう）を原料に製造され、このセルロイド事業がダイセルの出発点です。



綿花



クスノキ

celluloid?

ご利用案内 information

入館料 ——— 無料（団体のお客様は事前予約が必要です）

開館時間 — 10:00 - 16:30

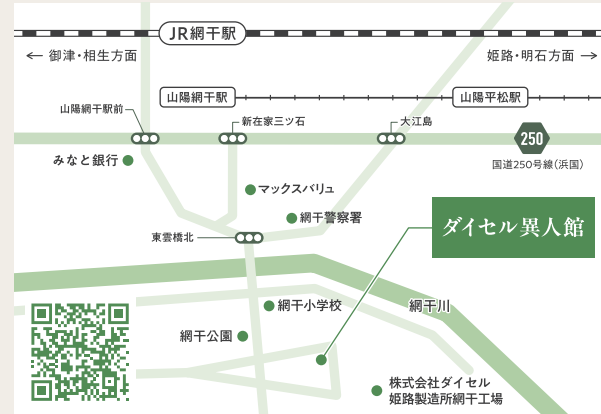
休館日 ——— 土・日・祝日

懐かしいおもちゃが
いっぱい



きてネ。

アクセス access



★ 山陽電車網干駅 下車 南へ徒歩15分

周辺公園施設 view point

異人館周辺には、歴史的な建造物や100周年記念モニュメントなどが点在しています。ぜひ散策してみてください。



DAICEL

株式会社ダイセル 姫路製造所 網干工場総務部
〒671-1281 兵庫県姫路市網干区新在家1239
TEL 079-273-7001

2024.08

ダイセル異人館と

セルロイド

ダイセル異人館へようこそ

1908年、ダイセルの前身となる日本セルロイド人造絹糸株式会社が設立され、この地に工場が建設されました。
1910年に竣工したダイセル異人館は、大阪通天閣や新世界の街並みの設計を手掛けた建築家の設楽貞雄により、イギリス・ドイツから招へいした技師の宿舎として設計されました。現在、緑の異人館はセルロイド製品の展示場として公開され、赤の異人館は当社迎賓館の一部として使用されています。



緑の異人館



赤の異人館

セルロイド生産世界No.1の工場

網干工場は、1930年代にセルロイドの生産量で世界シェア30%以上を誇り、世界No.1の工場となりました。



当時の網干工場



セルロイドの生産工室

認定化学遺産 第009号に登録

我が国における、セルロイド工業の発祥と隆盛を伝える貴重な建物や資料が、2008年に認定化学遺産として登録されました。その中にはダイセル異人館も含まれています。



歴史を彩る

セルロイドの軌跡

セルロイドは、1800年代後半にアメリカで最初のプラスチックとして開発され、象牙の代替品として広く使われるようになりました。その後、20世紀初頭には映画フィルムや写真フィルムの材料としても利用され、映画産業や写真産業の発展に大きく貢献しました。そして、セルロイドはその独特の美しさと質感から、今なお万年筆やメガネフレーム、楽器のパーツとして愛されています。

この異人館では、セルロイドの歴史とその多様な用途について詳しく学ぶことができます。

万年筆



ギターのピック



アニメ映画のフィルム

写真は1930年代のアニメ映画のフィルムです。当時のアニメ映画は、透明なセルロイドシートに手描きで描かれた「セル画」と呼ばれるものと、セルロイド製の映画フィルムを使用し、1コマ1コマ撮影されていました。



Technique of Celluloid

セルロイド人形の金型

空気(蒸気)吹き込み法という成形技術で使われた金型と成形品です。同時に多数の成形品を製造する技術が開発されていました。



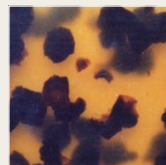
アメリカ帰りの白鳥

彫刻を施したような精巧な金型で成形されたセルロイドの白鳥です。1915年開催のサンフランシスコ万博の出品品です。

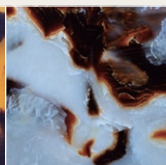


セルロイドの彩りと模様

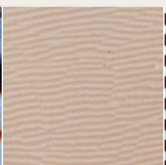
セルロイドは、その独特な透明感と光沢により、美しい柄や模様を持つことで知られています。この素材は、多様な色合いやパターンを表現することが可能であり、さまざまな製品に応用されています。



べっ甲柄



大理石柄



象牙柄



市松柄

技

Beauty of Celluloid



セルロイドのかんざし

べっ甲の中でも希少で最高級品とされる「白甲(しろこう)」を模したセルロイドで作られた花嫁かんざしです。

象牙調セルロイド表装の聖書

王侯貴族しか使用できなかった超高級な象牙表装の聖書でしたが、産業革命を通じて形成された市民層に象牙調セルロイド表装の聖書が広まりました。



生活に溶け込み発展したセルロイド

セルロイドは、装身具や美術・工芸品など高価な用途に使用され始め、楽器、おもちゃ、日用品などさまざまな製品に使用されました。



Play of Celluloid

キューピー人形

キューピーは1909年に発表され、世界的に大ヒットしました。様々なデザインやポーズのキューピー人形がセルロイドで作られました。



輸出された玩具

セルロイドは、その軽さと耐久性が特徴で、子供たちが安全に遊べる理想的な素材とされました。カラフルな人形や動物のフィギュアは、創造性を刺激し、教育的な遊び道具として家庭に普及しました。日本製の玩具はアメリカなどに多く輸出されていました。



トナカイのフィギュア

リアルな動物のおもちゃとして人気のあるアニマルフィギュアです。セルロイドで作られた大正・昭和の頃から精巧に作られていたことがわかります。



遊